

サイトバンカ建屋における流入箇所への調査状況について

2019年2月28日

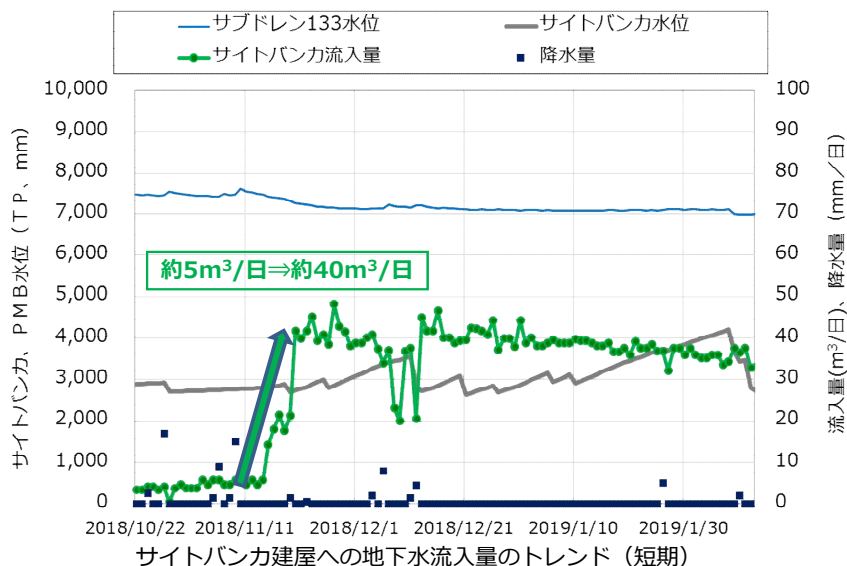


東京電力ホールディングス株式会社

概要

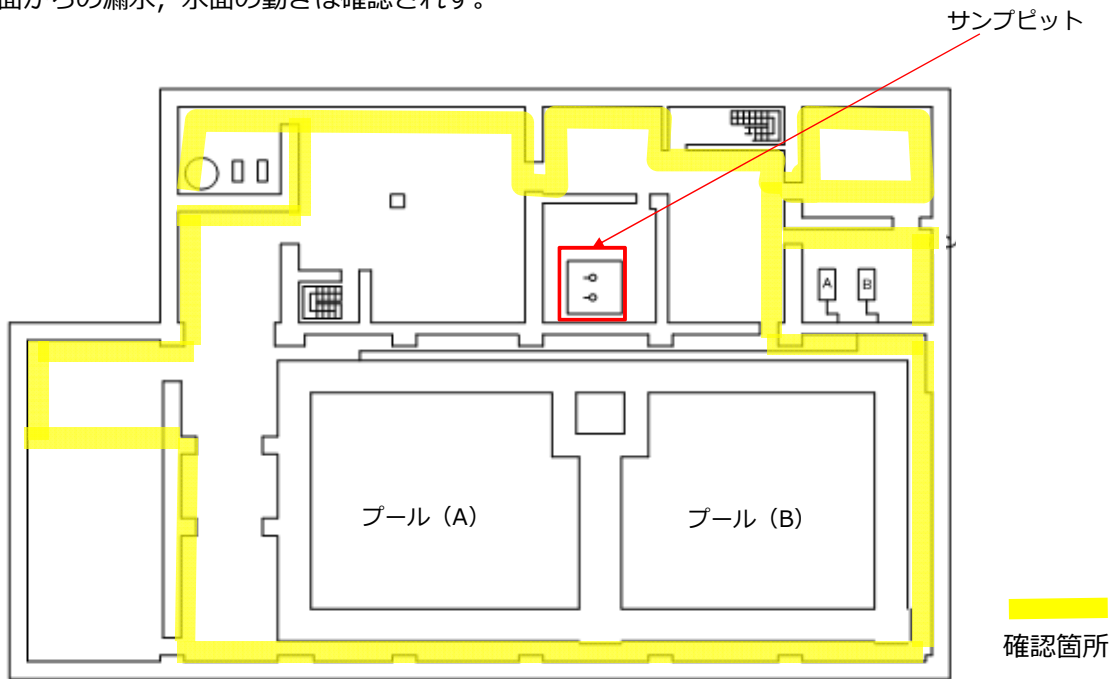


- サイトバンカ建屋への地下水流入量が、約 $5\text{m}^3/\text{日}$ であったものから、11月中旬から増加傾向となり、約 $40\text{m}^3/\text{日}$ の流入量となっていることを確認した。
- 2018年12月以降、サイトバンカ建屋内の水位を低下させ、原因調査を実施した。
 - ① 2018年12月21日 現場調査
 - ② 2019年 2月13日～ 仮設ポンプの設置ならびに水抜き
 - ③ 2019年 2月20,21日 水抜き後の調査を実施

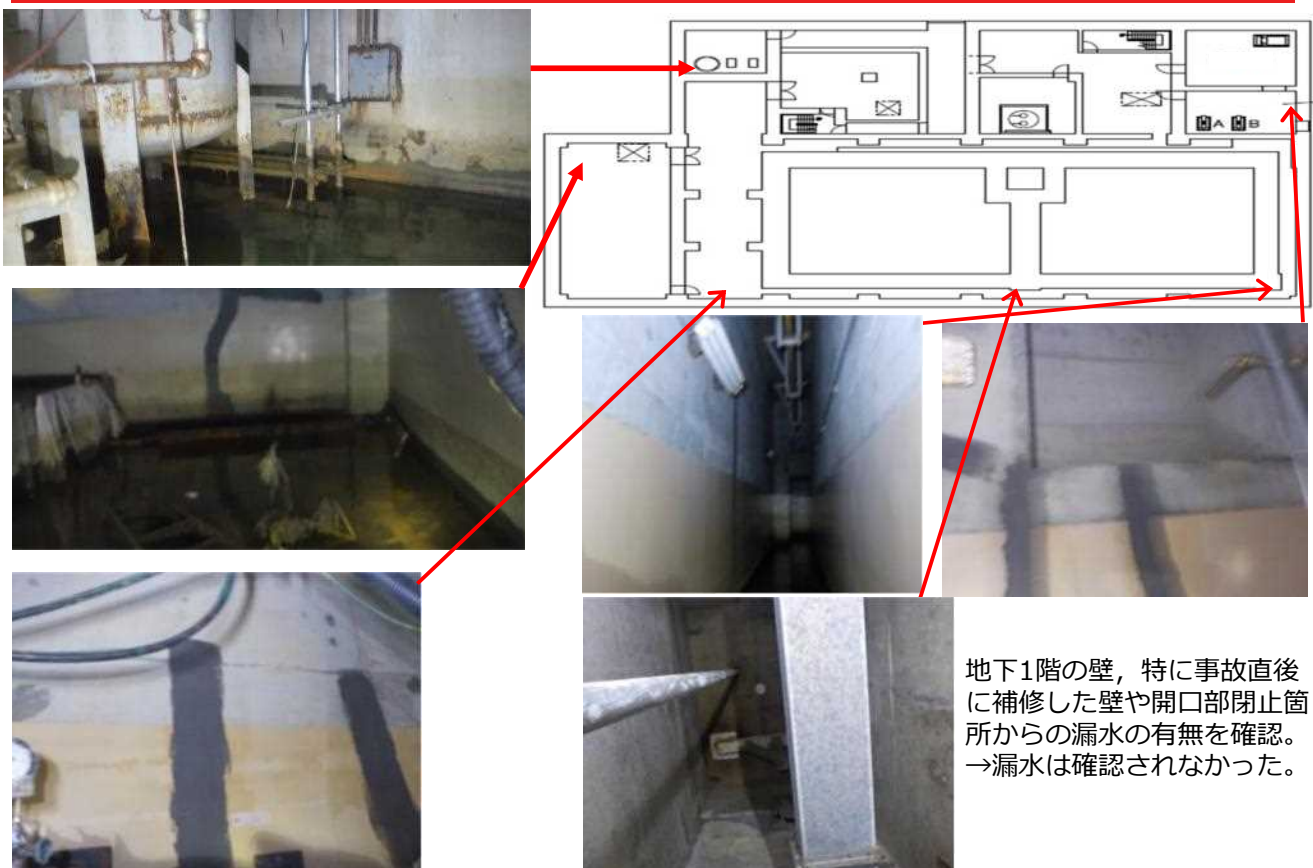


■ 調査箇所

地下1階床面から約400mmまで水抜きを実施後、2018年12月21日に目視にて壁面の観察を実施したが、壁面からの漏水、水面の動きは確認されず。



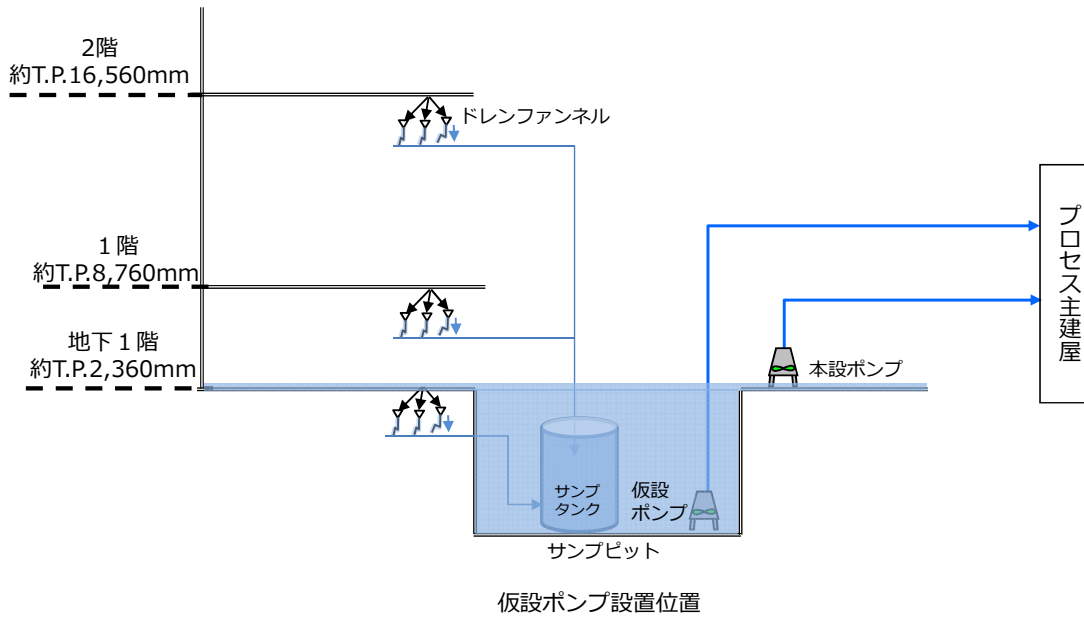
2018年12月21日 調査範囲



地下1階の壁, 特に事故直後に補修した壁や開口部閉止箇所からの漏水の有無を確認。
→漏水は確認されなかった。

② 仮設ポンプの設置ならびに水抜き

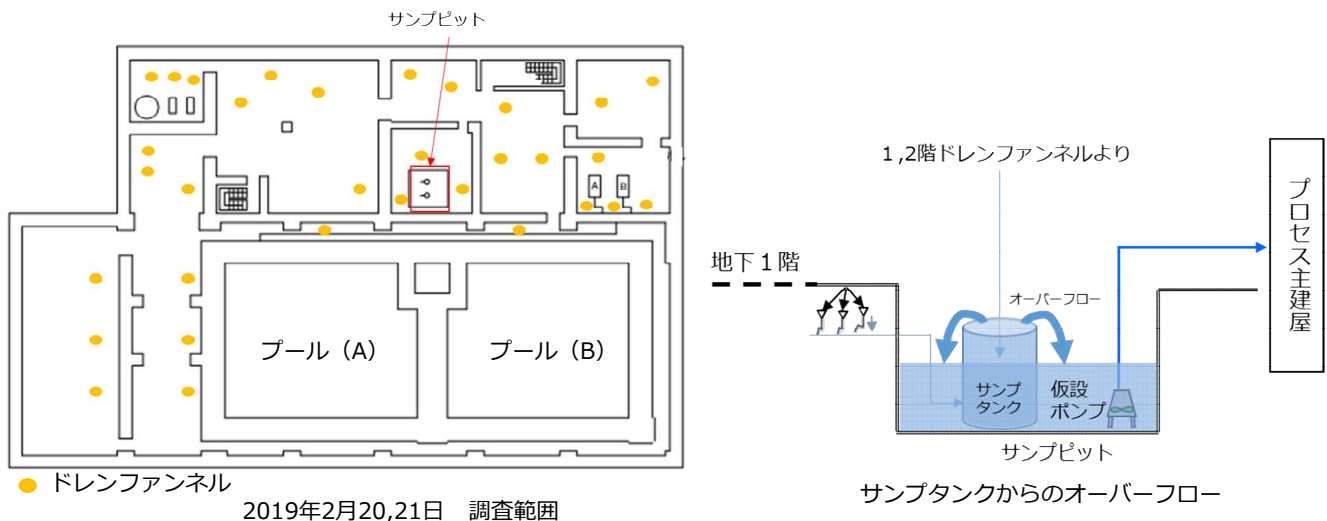
- サンプピット内に仮設ポンプを追設し、サイトバンカ建屋地下1階の床面が露出するまで、移送した（2019年2月13日より実施）。
- 仮設ポンプの移送先は、本設ポンプ同様にプロセス主建屋である。
- サンプピット内のサンプタンクは、各階のドレンファンネルと接続されている。



4

③ 2019年2月20,21日 サイトバンカ建屋地下1階調査結果（1/2）

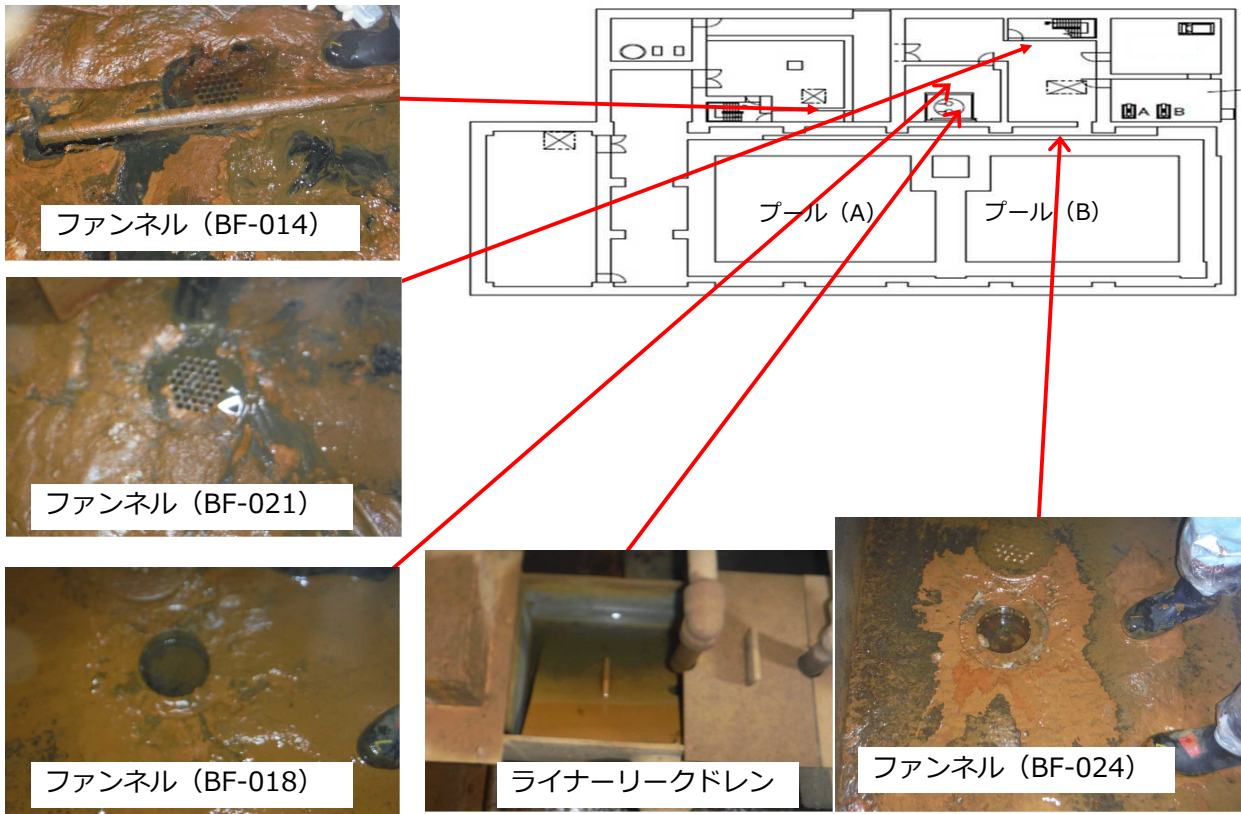
- 床面が露出した状態で、2019年2月20,21日に、サイトバンカ建屋地下1階で、下図に示すドレンファンネルの目視確認による、流入箇所調査を実施した。調査の結果は、下記の通り。
 - サンプピット内のサンプタンクから水がオーバーフローしており、ドレンファンネルから流入していると想定。
 - 一部のドレンファンネルについて、少量の水が流入していることを確認。
 - サンプピット内の水は、透明度が高く、スラッジ等の不純物は少量と推定（現在、分析中）。



● ドレンファンネル

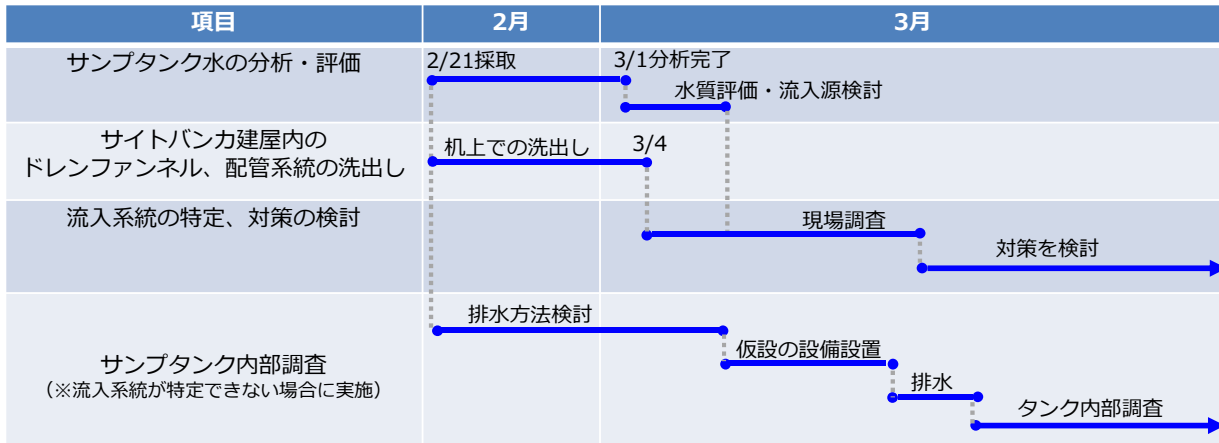
2019年2月20,21日 調査範囲

5



サンプタンク流入状況

- その他、以下の調査を実施した。
 - サイトバンカ建屋2階の貯蔵プールについて
 - 2018年11月以前から水位が変動していないことを確認（オーバーフローラインより70cm下で一定）
 - サイトバンカ建屋2階の第三セシウム吸着装置（SARRY II）について
 - ろ過水補給系統からの供給がないこと、ならびにSARRY II系統（ベントライン等）とドレンファンネルの接続がないことを確認（2019年2月実施）
 - その他系統について
 - ろ過水タンク保有量から、ろ過水の使用量に有意な変動がないことを確認
- 調査結果を踏まえ、社内調査体制を構築し、以下の対応を検討中。工程については、詳細調整中。



8

【参考】サイトバンカ建屋漏水修理工事について

【工事件名】 サイトバンカ建屋漏水修理工事
 【工 期】 2018年11月1日～2019年2月21日
 【施工内容】

昨年度、地下階から漏水が確認された場所の止水工事を実施した（完了）。

工程表



充填剤注入箇所の流入は止まっている。工事によって流入が増えたことは無い。
 サイトバンカ内部の確認箇所は、右図の地下水流入箇所としている箇所だけである。

現場状況

9

